

日 時： 令和7年10月3日（金）

14時～15時30分

1 開会

2 あいさつ

3 協議・意見交換等

(1) 危機管理課より個別避難計画について

個別避難計画は避難行動要支援者名簿を活用した計画になっている。名簿の該当者に危機管理課から個別避難計画についてのパンフレット、個別避難計画の書式、返信用封筒をつけて送付を行っている。昨年度、ハザードマップ上危険な地域である南部の地区から発送を始めており、今年度中には全地区に発送を終える予定となっている。発送した後も返送されたものを確認して、必要時電話や訪問等でフォローをしている。完成したものは危機管理課で導入しているシステムに登録を行った後、本人、避難支援等実施者にも共有を行っている。

来年度に向けては新規の方の作成も行っていくとともに、計画作成が難しかった対象者や個別避難計画自体に懸念がある対象者への対策も検討している。また、現状の様式では災害時の支援体制が不十分な方に対しての追加の様式を関係部局と相談しながら整備していく予定。

(2) 第2回川口市医療的ケア児等コーディネーター連絡会についての報告

9月17日にさいたま市にあるカリヨンの杜見学会を第2回川口市医療的ケア児等コーディネーター連絡会の一環として行った。元々、第1回の連絡会で施設見学の希望があった経緯があり、実施に至っている。

カリヨンの杜は埼玉県医療的ケア児等支援センター地域センターの一つとして埼玉県南部の地区を担当しており、医療的ケア児とその家族や支援機関からの相談に対応している。また、カリヨンの杜は医療型障害児入所施設や、短期入所、デイケアなどといった機能もある。利用対象者については重度の知的障害と重度の身体障害を重複している方、呼吸器などの医療デバイスに依存しているが病状が安定している方、在宅意向が完了しているが、介護者の事情による入院が必要な方になる。

見学会後にアンケートを実施しており、ほとんどの参加者が内容に満足しているとの回答であった。次回以降の連絡会の内容についてもアンケートを行い、他の施設の見学だったり、医療的ケア児やご家族との交流会、勉強会があるといいといった意見があった。次回は令和8年1月20日に開催される予定になっている。

(3) 第3回以降の川口市医療的ケア児等コーディネーター連絡会の方向性の検討

第3回川口市医療的ケア児等コーディネーター連絡会の一環として、医療的ケア児とその家族との交流会ができないかと検討している。令和8年7月11日に開催された埼玉県が主催している南部地区医療的ケア児等当事者支援者意見交流会に参加した際、川口市でもこういった交流会が開けないかといったお声をいただいたことがきっかけ。ただ、元々川口市医療的ケア児等コーディネーター連絡会はコーディネーターの質の向上や知識の向上、ネットワークの構築を目的とした連絡であるため、趣旨がずれないようにしていく必要がある。医療的ケア児連絡協議会委員からの意見としてどのような目的や開催方法をとるかによって連絡会の趣旨がずれる可能性があること、開催時に危険はないのか、災害等何かあった時はどうするかなども考えて開催しないといけななどの意見あり、開催については承認を得られたが事務局で意見を踏まえたうえで開催方法を検討していくこととなる。

5 閉会